

# FUKU-FUKU



◀高知インディーズマガジン  
第10回表紙イラストコンテスト  
(キタオカミツル)



▲第355回高新まんが道場入選作品  
「ワカモンゲット！」(かしま山)



第27回まんが甲子園優勝作品：テーマ「永久機関」(市立高知商業高等学校)▲

## 2018高知のまんがあれこれ展 & 高新まんが道場30年記念展

「まんが王国」を冠する高知ならではのまんが活動を紹介する「2018高知のまんがあれこれ展&高新まんが道場30年記念展」をお楽しみください。

毎年行われる「まんが甲子園」や「黒潮マンガ大賞」の2017年・2018年の受賞作・入選作や、高知を拠点に活躍する作家の活動を紹介します。「2018高知のまんがあれこれ展」と、30年を迎えた高新まんが道場の作品を紹介する「高新まんが道場30年記念展」を同時開催します。

国内外からの応募作から選ばれた33校が、与えられたテーマを元にチーム一丸となって作品を仕上げる「まんが甲子園」は、毎年熱く、活気と感動に溢れたドラマが繰り広げられます。高校生たちが心を一つにして描き上げた作品の数々を2年分一挙にご紹介します。その他にも昨年村岡マサヒロさんを審査員に加え、今年記念すべき第30回を迎えた黒潮マンガ大賞の受賞作や、地元を拠点置きながら活動するプロのまんが家・森田将文さんのコミック化作品「出陣 昆虫武将チヨウソウカベ」の原画、高知から世界にまんがを発信すべく発行を続ける「高知インディーズマガジン」の活動や作品を第1部の2018高知のまんがあれこれ展で紹介いたします。

第2部の高新まんが道場30年記念展では、1987年から始まった高新まんが道場から選りすぐりの入選作品を、道場のあゆみやテーマに沿って紹介します。時代を切り取ったピリッと辛口の一枚や日常の心温まるひとコマをご堪能ください。会期中には道場主のくさか里樹さんを講師に迎えたまんが教室「くさか里樹の『みんな、まんがを描いてみん？』」を開催。また会場内では村岡マサヒロさんが3コマ目までを描いた4コマまんがの4コマ目を考える「村岡マサヒロの4コマ目を考えよう」「コーナー」やその場で描いてすぐに応募できる「高新まんが道場に応募しよう」「コーナー」も開設します。

### 関連イベント

#### ★くさか里樹の“みんな、まんがを描いてみん？”

高新まんが道場の第2代道場主・くさか里樹さんがまんがを描くポイントを教えます！

日時●10月14日(日)13:30~15:00

場所●横山隆一記念まんが館 まんがライブラリー2

対象●小学生および中学生 定員●20名 参加料●材料費200円

※申込方法については、ちらし・まんが館ホームページをご覧ください。

※描いた作品は「2018高知のまんがあれこれ展&高新まんが道場30年記念展」会場内に展示されます(もしかしら高新まんが道場の紙面に掲載されるかも!?)。



### フクちゃん 横山隆一 (1958年)



期間●2018年10月13日(土) ~11月25日(日)

場所●横山隆一記念まんが館 企画展示室

時間●9:00~18:00

休館日●月曜日  
10月27日(土) 15:00~18:00  
10月28日(日)

観覧料●無料

主催●公益財団法人高知市文化振興事業団  
横山隆一記念まんが館  
高知新聞社

「ゆかいな隆一えほん展」も開催しました。



ジオラマで再現した「ガリバーのたび」



絵本も自由に読めます



「ぞろのホートン」原画展示

関連イベント

7月21日には「隆一絵本ろうどく会」を開催しました。テレビアニメ「芋れいけ!アンパンマン」のしょくぱんまん役などで活躍中の高知県出身の声優・島本須美さんが未発表作品を含む隆一オリジナル絵本5作品を朗読しました。始まりに際して横山隆一長男・横山隆雄さんからあいさつをいただきました。朗読がすすむにつれ子供たちは、島本さんの登場人物ごとに使い分けられる声色と、プロジェクターに映し出された隆一の絵の美しさに引き込まれていました。



島本須美さんが読む「ふうせんどり」

今回の展覧会では、横山隆一が手掛けた絵本の仕事を、関係資料で紹介しました。  
アメリカの人気絵本作家ドクター・スース原作絵本を、隆一が絵をリライトした原画や隆一オリジナル絵本で今回新たにまんが館に収蔵された「かぼすけのふんすい」などの原画、未発表作品の「ふうせんどり」などを展示しました。また、原画の絵本が読めるコーナーを設置し、ゆっくり絵本を讀んでもらえるようしました。ドクター・スース原作とリライトしたものを讀み比べると隆一の着眼点が見えてきたのではないのでしょうか。  
また立体展示で目をひいたのは、フレール館の「トッパンのおとぎえほんシリーズ」。昭和39(1964)年から40(1965)年にかけて、横山隆一が主催したアニメ会社・おとぎプロが手がけた、「切りがみを素材としてつくられた、切りがみ絵本」全15作品のシリーズです。日本の昔話や、外国の童話、そして隆一がその後、折にふれモチーフを使った「ガリバー」のお話などを、短く子ども向けに仕上げられています。  
絵本の各シーンを、登場人物は切り絵でつくり、背景にはジオラマを置いたものを写真撮影して作っている、切り絵の達人・隆一、またジオラマ好きの隆一らしい非常に手の込んだ絵本です。今回、制作当時の場面を再現し展示しました。切り紙で作られた登場人物たちは50年以上昔のものとは思えないほど色鮮やかでした。  
それに関連して、隆一の制作したジオラマを8点展示しました。「切りがみ絵本」で使われていた背景や、登場人物を素材に新しいジオラマに仕立てたものもあり、展示を観た人の中には気づかれた人もいたのではないのでしょうか。  
隆一のアイデアがあらうこちらに散りばめられていて、それを観覧者が見つけていく、わくわくドキドキできる、えほん展でした。  
また8月7日からはクイズラリーを開催。展示を観てクイズに答えると、絵本の場面が描かれたマグネット(2種類のうち1個)をプレゼントするというもので、大人も子供も楽しみながらクイズに参加してくれました。



2018夏休み  
まんが体験イベント  
めざせ!まんが職人

小学生を対象にした恒例の夏休みイベント「めざせ!まんが職人」を開催しました。今年度は申し込み締め切り時点で全6コース12教室がすべて定員に達し、たくさんの参加者で賑わいました。

毎年人気の「まんが動物園をつくろう」「まんが水族館をつくろう」では、紙コップを使って動物のお家を作ったり、魚が動く仕掛けを作ったりと、自分だけの動物園や水族館作りにはげんでいました。

「まんが石けんをつくろう!」では、自分で描いたイラストをさまざまなお素材で飾り付け、素敵な作品ができあがっていました。  
この他「まんが風鈴」「ぼっくんアニメル」

「まんが万華鏡」でも、個性豊かな作品が続々生まれ、参加者からは「自分の好きな動物をかけて、はれて、自由にできて楽しかったです!」や「工夫やいろいろな発見もできた」という感想もいただきました。ご家族やお友達と一緒に、良い夏休みの時間を過ごしていただいたのではないのでしょうか?



どんな作品ができるかな?



まんが動物園

まんが風鈴

見てみる!

すてきな作品ができました!

ぼっくんアニメル

期間 ● 7月31日(火)・8月1日(水)・8月18日(土)  
8月19日(日)・8月24日(金)・8月25日(土)  
場所 ● まんが館まんがライブラリー2





毎年好評「じもきやらステージ」※写真は昨年の様子です

## 秋のMEGAマン研 開催決定!

まんがを描きたい中高生を応援する「MEGAマン研」。秋の開催日が決定しました!

人物・背景の描き方、原稿用紙・道具の使い方から同人誌の作り方、部活相談まで、県内在住のマン研OBたちが指導します。

開催時間内なら都合の良い時間だけ参加できて、食べ物や飲み物の持ち込みもOK!

マン研の人も、入っていない人も、描いたことないけど描いてみたい人も、ちょっとステップアップしたい人も、まんがを描きたい人なら誰でも大歓迎です!



開催日 ● 2017年9月29日(土)・30日(日)

時間 ● 11:00~17:00 ※出入り自由

場所 ● 高知市文化プラザかるぼーと 10階絵画室

参加料 ● 無料

お問い合わせ ● URL: <http://mansai.org>

E-mail: [megamanken@mail.117.cx](mailto:megamanken@mail.117.cx)

# まんさい

2018年11月3日(土・祝)・4日(日)

四国最大級のまんがイベント「まんさいーこうちまんがフェスティバル2018」が11月3日・4日の2日間で開催されます!

毎年お楽しみの声優ゲストは、3日(土)が谷山紀章さんと林勇さんのWトークショー、4日(日)がまんさい2度目の登場となる緑川光さんの豪華メンバー。ほかにまんが家さんによるライブ

ブドローイングや、アニソンライブや、おなじみ「じもきやらステージ」など盛りだくさんのイベントを予定しています。コスプレしての参加もOK。「みて」「かいて」「あそぶ」まんがとアニメを満喫する2日間をお楽しみください。追加ゲストやイベントに関する最新情報はホームページ<http://mansai.org>をチェック☆

開催日 ● 2018年11月3日(土・祝)・4日(日)

参加料 ● 入場バスポート

時間 ● 10:00~16:00

高校生以上 各日 500円

※オープニングセレモニーなど一部イベントを除く

小・中学生 2日間有効500円

※小学生未満無料※一部イベントを除く

場所 ● 高知市文化プラザかるぼーと

主催 ● こうちまんがフェスティバル実行委員会2018、高知市、高知市教育委員会、高知市文化振興事業団横山隆一記念まんが館



優勝旗と副賞を受け取る市立高知商業高等学校のメンバーたち

その結果、第27回まんが甲子園最優秀賞に輝いたのは、本選出場7回目の高知商業高校。「じゃんけんをエネルギー」とした永久機関。ジョークの内容と語り口がぴったり合う」と審査員から高い評価を受けました。さらに、高知工業高校が「まんが王国 土佐推進協議会会長賞」、土佐女子高校が「三菱電機賞」を受賞するという快挙を成し遂げました。

高知からは、県立高知東工業高等学校、土佐女子高等学校、県立高知工業高等学校、市立高知商業高等学校の4校が出場、初日の4日は1次競技が行われ、「A」をテーマに思い思いの解釈で作品を制作しました。そして翌5日、土佐女子高等学校、県立高知工業高等学校、市立高知商業高等学校を含む16校と敗者復活で勝ち上がった5校併せて21校が決勝戦に進出、テーマ「永久機関」に制限時間の5時間半、力と知恵を振り絞り、たどたどすらペンを握り続けました。

8月4日・5日、第27回まんが甲子園が高知市文化プラザかるぼーとで開催されました。今回は301校の応募校から厳しい予選審査を勝ち抜いた33校(国内30校、韓国・台湾・シンガポール代表各1校)が、まんが王国・土佐に集結し、最優秀賞めざして熱い戦いを繰り広げました。

## トピックス TOPICS

### 高知県勢快挙!! 第27回 まんが甲子園



すさきまちかどギャラリィ

佐々木かおり

## まんがと私



すさきまちかどギャラリィで継続開催しているアートプロジェクトの運営を、昨年初めて実行委員会形式にしました。委員会は二人の美術家を中心に、酒屋・醤油屋の女将・森林組合職員・行政職員などの地元個性豊かな面々がそろいました。昨年度のプロジェクトのオープニングを迎えた時、美術に携わる人も、そうでない地元の人々も楽しく交わる姿を見た私は、「この場を一緒に作り上げた実行委員会は宝物だ。」と号泣したワケです。

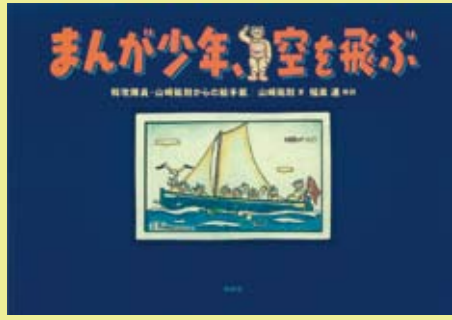
寄せ集めという言葉が悪いのですが、素人が集まり、目標達成のために努力して、笑いと涙の感動を与える名作といえ、相撲まんが「うつつちゃれ五所瓦」(なかいま強/小学館)かと。

名門相撲部で最後の一人の部員となった主人公が、高校3年の最後のインハイはどうしても団体戦に出たいと、部員を勧誘する場面から始まります。集まるのはオッサン面の柔道部主将に、姑息で卑怯な応援団、プロレスラー志望のアマレス部、おデブで名前が力士っぽいだけの囲碁部。まさに寄せ集め。試合も一本背負いが出るわ、ラリアートが出るわ、まわしに押しピンをしこむ反則するわ...でも主人公にとったら、この無茶苦茶な即席部員たちは、一人では決して見ることでできない景色(団体優勝)を、一緒に見られる唯一無二の宝物だったはず。一人で抱え込む癖のある私は、不足を自身の努力だけで補っても、その一人の努力だけでは到達できない場所があるのだと「うつつちゃれ」を読み直すたびに、痛感するのです。

この相撲部が迎えるラスト2ページは、これまたすごい爽快感。現実にはシビアなこと多いんですけど、この爽快感を得るため今年も、実行委員会のみならず奔走しようと思っております。



# 高知出身の特攻隊員・山崎祐則さんの絵手紙書籍化



2018年8月、高知出身の特攻隊員・山崎祐則さんの絵手紙をまとめた書籍『まんが少年、空を飛ぶ』が偕成社より刊行されました。

1925年高知市に生まれ、香南市夜須町で育った山崎祐則さんは、県立城東中学校(現・高知追手前高等学校)在学中に友人と「青空漫画研究会」を結成し、まんが本を全ページ手書きで自作するほどまんが好きな少年でした。空への憧れから、17歳の時に海軍航空隊に入隊。娯楽の少ない軍隊の中でまんがを頼まれることもあり、予科練での日常生活をユーモラスに描いたガリ版刷りの冊子「予科練時代」は欲しい人に行き渡らないほどの人気だったといえます。家族への手紙にもまんがを添えたものが多く、明るく楽しく近況を伝えていましたが、戦況の悪化に伴い文面に敵しさが増していき、1945年3月、米軍艦船への「特攻」で戦死しました。享年19歳でした。

これらの作品や絵手紙は遺族の元で長らく眠っていました。2010年、地元『高知新聞』記事で取り上げられたのを機に、翌2011年4〜7月、横山隆一記念まんが館の企画展「2011高知のまんがあれこれ展」で展示紹介したところ、全国のまんが研究者から大きな反響を呼びました。翌年8月にはNHKで特集番組が放送されて再び注目を集め、これが今回の書籍化につながったといえます。

長い年月をかけて刊行が実現した本書『まんが少年、空を飛ぶ』は、祐則さんの学生時代の手紙から、特攻出撃前に書かれた遺書まで、時代を追って掲載すると同時に、当時の時代背景についても丁寧に紹介しており、祐則さんの人柄と、時代に翻弄されつつも生き抜いたその人生を今に伝えていきます。本書は、まんが館まんがライブラリーで閲覧できます。祐則さんが残した足跡を、是非お手に取ってご覧ください。

●ご購入についての問い合わせ先  
偕成社販売部 03-3260-3221

# 隆一珍コレクション、平成30年度「高知市平和の目」記念事業へ出展



「核と被曝を考える」展 展示風景

毎年高知市が開催している「高知市平和の目」記念事業が、今年も8月6日から15日まで市立自由民権記念館で開催されました。今年はいま核と被曝を考えるをテーマにした資料展が行われ、その関連資料として、まんが館所蔵の「隆一珍コレクション」から「広島原爆直下の広島商工会議所の中心部にありし錠」「広島原爆直下にあつて反面焼けている護国神社玉石」「長崎原爆による浦上天主堂のステンドグラスの破片」「長崎市浦上上空に投下された原爆のため、熱線の直射によりガラス質の粒状がでた瓦」の4点が貸し出されました。実物資料が少ない中、これらの前に足を止めてご覧になる来場者の方も多く見受けられ、珍コレクションとして集められたものが、歴史の貴重な証拠として生かされる貴重な機会となりました。

また、「平和への思い」作品募集では毛筆部門、標語部門、まんがイラスト部門合わせて658点の応募があり、まんがイラスト部門では、小学生の部で市立十津小学校6年藤田心音さんが、中学生の部では市立横浜中学校2年森田千遥さんが、最優秀に選ばれました。

# 黒潮マンガ大賞 いの町・長田寛斗さん入選

高知新聞社が「自由」と「反骨」精神に富んだ高知県の風土から新たな才能を発掘しようと平成元(1989)年に創設した黒潮マンガ大賞が今年第30回を迎え、去る8月2日、入賞作品が発表されました。

今回は全国各地から97人102点の力作が寄せられ、昨年から加わった村岡マサヒロさんと、西原理恵子さん、くさか里樹さん、八巻和弘さん(小学館ビッグコミックスベリオール編集部兼コミックス企画室)の4氏が審査しました。残念ながら、すばめけた作品は見当たらないということで、大賞は4年ぶりの選出なしとなりました。しかし審査ではさまざまな意見が交わされ、準大賞2作品、入選3作品、また特別賞「西原がんばりま賞」「村岡がんばりま賞」の計7点が入賞しました。

高知県勢では、村岡マサヒロさんにあこがれてまんがを描き始めたという、吾川郡いの町の長田寛斗さん(19歳)の作品「殺し屋Bの掟」が入選作品の一つに選ばれました。表彰式は、8月4日にまんが甲子園の会場ステージで行われ、多くの高校まんが部員の前で行われました。7人すべてがプロまんが家希望とのこと、将来が楽しみです。



まんが甲子園ステージ上での表彰式

## 館のご案内

開館時間 9:00~18:00  
休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)  
年末年始(12月28日~1月4日)

常設展示観覧料  
一般410円  
団体(20名以上) 320円・65歳以上200円・高校生以下無料  
身体障害者手帖(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円

お問い合わせ先  
〒780-8529 高知市九反田2-1  
高知市文化プラザかるぼーと内  
横山隆一記念まんが館  
TEL:088-883-5029 FAX:088-883-5049  
URL:http://www.kfca.jp/mangan/  
E-mail:mangan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、高知市文化プラザかるぼーと3階入り口よりご入場ください。



◆毎年秋に開催される「こうちまんがフェスティバル(愛称:まんさい)」をご存じですか? 近年では来場者がのべ20,000人を超えるこのイベントを支えるのは、県内のまんが好き、アニメ好きを中心とする約30名の実行委員たちです。彼ら彼女らは全くのボランティアで企画・立案から企業やゲストの事務所との交渉、当日の運営までをこなします。高知のまんが文化はこういった、まんがやアニメをこよなく愛する、熱いスタッフに支えられているのです。今年のまんさいも多彩なゲストやイベントを予定しています。是非一度足を運んでください。(志)